

園田のうつりかわり

	尼崎・園田の歴史	国内の重要事項	
弥生時代	田能に弥生集落がではじめた (B.C200頃)	卑弥呼・魏に遣使 (239)	
大和時代		大和朝廷の統一 (350頃)	
奈良時代	猪名寺 (現廃寺) が造られた (700頃)	平城京遷都 (710)	
豊臣時代	三平井組と大井組との間に水論 (1592)	豊臣秀吉全国統一 (1590)	
江戸時代			
明治時代	元年 (1868)	明治維新	
	4年 (1871)	尼崎藩廃止で尼崎県誕生 (後に兵庫県に合併吸収)	廃藩置県
	7年 (1874)	大阪神戸間に鉄道開通 猪名川洪水で瓦宮・小中島村等堤防決壊被害大	
	20年 (1887)	川辺馬車鉄道設立	
	22年 (1889)	町村制がしかれ、尼崎町と小田・大庄・立花・園田の各村ができた	大日本帝国憲法発布
	25年 (1892)	川辺馬車鉄道が摂津鉄道と改称・蒸気機関車となる	
	27年 (1894)	阪鶴鉄道 (後の福知山線) の塚口駅設置	日清戦争
	33年 (1900)	園田農会設立	
	37年 (1904)	園田第1尋常小学校を園田尋常高等小学校 (後の市立園田小学校)・ 園田第2尋常小学校を園田尋常小学校と改称 (後の市立園和小学校)	日露戦争
	38年 (1905)	大雨で洪水・戸ノ内新堤防破壊	
大正時代	3年 (1914)		第1次世界大戦
	5年 (1916)	尼崎町と西難波・東難波が合併して尼崎市が誕生	
	9年 (1920)	阪神急行電鉄神戸線・伊丹線が開通 (阪急)	
	11年 (1922)	森永製菓塚口工場開業	
	12年 (1923)		関東大震災
昭和時代	5年 (1930)	園田競馬場竣工	
	6年 (1931)		満州事変
	9年 (1934)	室戸台風の被害	
	11年 (1936)	阪急園田駅設置、阪急園田宅地造成事業、尼崎市と小田村が合併	2・26事件
	12年 (1937)		日中戦争
	13年 (1938)	大洪水で猪名川・藻川破堤溢水大被害	
	15年 (1940)	三菱電機大阪製作所 (南清水) 開業	
	16年 (1941)		太平洋戦争
	17年 (1942)	尼崎市と大庄・武庫・立花村が合併	
	20年 (1945)	米軍機により尼崎初空襲される	ポツダム宣言受諾、終戦
平成時代	21年 (1946)		日本国憲法公布
	22年 (1947)	尼崎市と園田村が合併、園田中学校開校	6・3・3制新教育実施
	24年 (1949)		湯川秀樹・ノーベル物理学賞受賞
	25年 (1950)		ジェーン台風襲来

地名について



平安時代、このあたりに「橘御園」というたちばなのみその 荘園がありました。これは当時、全国各地にあった竹・桑・うるし・松茸などの御園と同じように、橘 (みかん) をつくっていた果実園中心の荘園でした。その後果実栽培がすたれ、田地になりましたが、この地が「御園荘」と呼ばれていたところから「園田」という地名が生まれたといわれています。



この名は1935年(S10)阪急がこの地を買収整地した時に新しく出来たもので、園田と昭和、または園田と平和を組み合わせられて出来たものといわれています。現在小学校や公民館などにその名が使われていますが、行政地名としてではなく、一般通称として親しまれています。